

## ■ 株主メモ

証券コード	7716
事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	定時株主総会議決権行使の基準日 12月31日 期末配当金の基準日 12月31日 中間配当金の基準日 6月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	当社ホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード
お知らせ	<ul style="list-style-type: none"><li>● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。</li><li>● 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。</li></ul>



### 表紙写真: SPIRAL.UQ

当社創業90周年を記念して本社正面口に設置したステンレス彫刻作品。制作者である木戸修氏が東京藝術大学教授を退任する際に制作した集大成の作品で、作品名にある「SPIRAL」は当社のコア技術：超高速回転技術を象徴しており、「UQ」は当社が悠久に進化・発展していきたいという願いに通じています。

# BUSINESS REPORT

第71期中間期

2022年1月1日～2022年6月30日

株式会社ナカニシ



**NSK**

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

堅調な世界需要に支えられ、円安進行も追い風となって 2022年上半期の業績は増収増益となりました。歯科・外科・機工すべての事業で売上を伸ばし、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益も過去最高を更新しました。

コロナ禍以降に立ち上がった需要を最大限に取り込んできた結果、当社の事業規模は大幅に拡大してきており、生産能力の増強が喫緊の課題となっています。これを打開するべく昨年11月に着工した部品加工工場「A1+」は9月5日に竣工し、生産立ち上げを進めています。また、本社敷地内に新しい組立工場「M1」の建設を決定し、建設計画に着手しました。当社の中長期的な成長を実現する事業基盤の確立に向け、生産増強施策を進めてまいります。

また、直近の業績動向や為替変動を鑑みて、中期経営計画のローリングプラン「NV2025+」を策定しました(P.05参照)。高収益を堅持・発展させつつ、資本効率を重視した経営へと進化することで、さらなる企業価値向上を目指してまいります。

サプライチェーンの混乱が長期化する中、足元の生産活動は予断を許さない状況が続いていますが、世界中のお客様に一日でも早く製品をお届けするべく、全社員一丸となって努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の成長にご期待頂くとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員

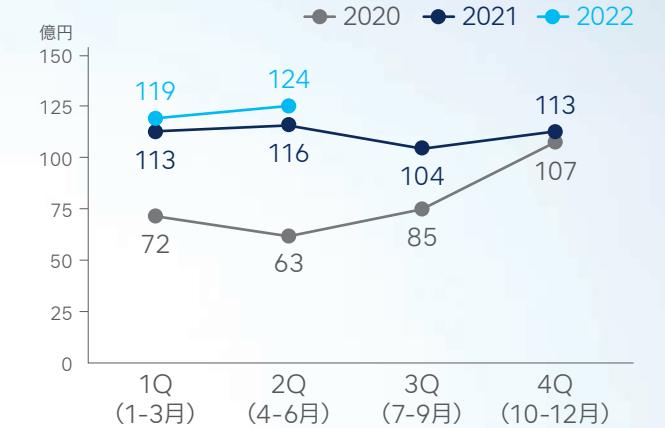
中西 英一



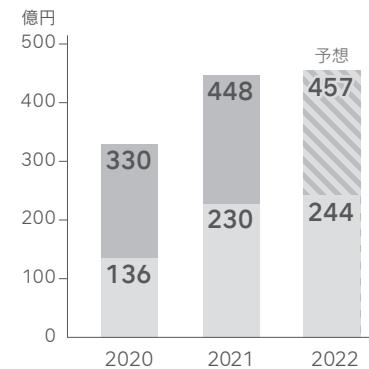

## 2022年上半期の業績について

世界各市場の需要動向は地域差があるものの、おおむね堅調に推移しています。歯科・外科・機工の各事業で引き合い案件が増加しており、2022年上半期においても順調に販売を伸ばしました。四半期毎の売上高は好決算となった前年を上回る水準で推移しています。為替影響（円安進行による売上高のかさ上げ効果）を除外しても、前年と同水準の売上高となりました。

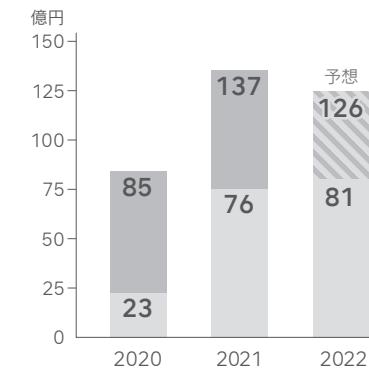
## 四半期売上高の推移



■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



## 歯科事業

### Dental Business

補綴歯科治療・歯周病治療・訪問歯科治療・インプラント治療等、広範な歯科治療をカバーする歯科治療機器の開発・製造・販売を行っています。



歯科用ドリル  
Ti-Max Zシリーズ



インプラント用モーター  
Surgic Pro2

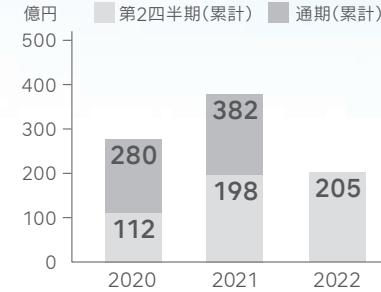


超音波スケーラー  
Varios Combi Pro



高圧蒸気滅菌器  
iClave mini2

### 歯科事業売上高の推移



### 上半期の事業概況

地域	販売の動向 前年同期比	概要
国内	↓	OEM販売は堅調だったものの、前年3月の政府助成金終了で需要一巡し、販売は落ち込みました。
欧州	↑	主力の歯科用ドリルやインプラント用モーター販売が伸長しました。特に英国向けの販売が好調でした。
北米	↑	歯科用ドリルやマイクロモーターの販売が伸長しました。自社ブランド・OEMともに好調で、大幅増収となりました。
アジア	↓	東南アジアは復調、韓国は前年並みとなりましたが、中国のロックダウンの影響が大きく、販売は減少しました。
その他	↑	ロシアは低迷したものの、南米で大幅増収となったほか、豪州や中近東向けが堅調に推移し、増収となりました。

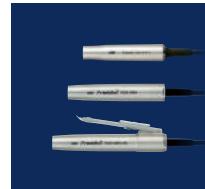
## 外科事業

### Surgical Business

脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科等の医療分野で使用される外科手術用骨切削用ドリルの開発・製造・販売を行っています。



外科用電動ドリル  
Primado2  
コントロールユニット



スリムモーター  
P200-SMHシリーズ

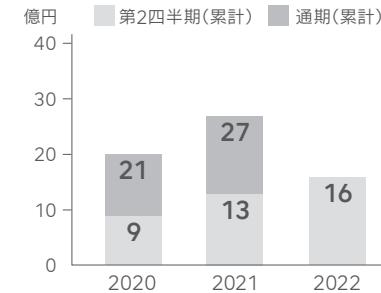


アタッチメント  
P300 アタッチメント  
シリーズ



外科用先端刃具  
各種アタッチメント用バー

### 外科事業売上高の推移



### 上半期の事業概況

地域	販売の動向 前年同期比	概要
国内	↑	従来からの脳神経外科に加えて脊椎外科への営業活動が功を奏し、順調に販売を伸ばしました。
欧州	↑	既存顧客の更新案件や基幹病院からの大型案件を順調に獲得したことで、販売が大きく伸長しました。
北米	↑	北米市場では当社製品への評価が高まっており、他社との協業による販路拡大も相まって販売伸長しました。
アジア	↓	期首は順調な立ち上がりを見せたものの、中国のロックダウンの影響で販売減となりました。

## 機工事業

### Industrial Business

自動車・航空機・精密機器等、幅広い製造分野の超微細・精密加工で使用されるスピンドルおよびハンドグラインダーの開発・製造・販売を行っています。



工業用スピンドル  
E-4000シリーズ



工業用スピンドル  
Air-Speedシリーズ

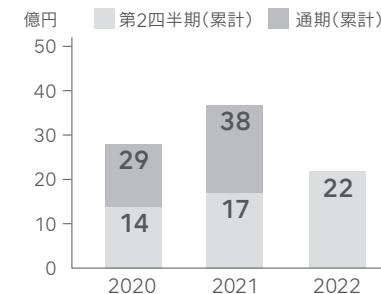


電動ハンドグラインダー  
EmaxEVolution



超音波研磨機  
シーナスZERO

### 機工事業売上高の推移



### 上半期の事業概況

地域	販売の動向 前年同期比	概要
国内	↑	製造業による設備投資は活発で、バリ取り・穴あけ・基板分割へのスピンドル販売が伸長しました。
欧州	↑	再開した展示会では引き合いが旺盛で、積み上げた受注案件をこなして、販売は伸長しました。
北米	↑	北米市場の設備投資意欲は底堅く、スピンドルを中心に販売好調で大幅増収となりました。
アジア	→	需要は旺盛ながらも、折からの部品不足で減産を余儀なくされ、売上は横ばいとなりました。

## 中期経営計画ローリングプラン「NV2025+」

コロナ禍を機に歯科治療現場での滅菌処理が定着化し、歯科治療器具の需要が世界的に高まりました。旺盛な世界需要を最大限に獲得したことで、当社製品の世界販売のベースラインは従来に比べ大きく上昇、直近の業績は中期経営計画で定める業績目標ラインを大きく上回る水準に達していました。また、為替相場においては円安が進行し、業績目標の前提が大きく変動しました。これを受け、当社は現在の経営環境を踏まえた中期経営計画ローリングプラン「NV2025+」を策定しました。

### 基本方針・重点施策

\* 前回計画「NV2025」から変更なし

- ▶ デンタル事業のグローバル市場における戦略的拡大
- ▶ 超高齢化のニーズに応える新規事業の育成
- ▶ スピーディーな開発とダントツのコスト競争力を実現する経営基盤づくり

### 業績目標・財務目標

- ▶ PL 経営から資本効率も重視した経営へ進化
- ▶ 成長投資・株主還元・リスク耐性のバランスを考慮したキャッシュアロケーション

前回計画	売上高	営業利益	営業利益率				
NV2025	500億円	140億円	28%				
	▼	▼	▼				
ローリングプラン	売上高	営業利益	営業利益率	+	ROE	+	総還元性向
NV2025+	550億円	165億円	30%		11%		50%
						+	手元流動性比率
							12カ月

## 新しい部品工場「A1+」が9月5日に竣工

宇都宮西中核工業団地（栃木県鹿沼市）に立地するA1工場に隣接させる形で建設を進めてきた新工場「A1+」が9月5日に竣工しました。延床面積5,500平方メートルの新工場の屋根全面には太陽光パネル1,600枚を配置し、生産能力の増強と環境負荷の軽減を同時に推進していきます。



新工場「A1+」においては、ハード・ソフト両面から生産能力の増強に向けた施策を推進していきます。

### 部品加工能力の増強

生産活動のボトルネックとなっていた部品加工能力（部品の一次加工）の増強を図ります。生産工程の自動化や整流化を追求した高効率な生産ラインの構築を進め、既存の生産ラインにも水平展開していきます。

### 人材育成プログラムの推進

超精密部品加工を担う技能者の育成の均質化とスピードアップを目指して、新たな人材育成プログラム「ASK」\*を開始します。専任講師による体系的実習計画を通じて、高度ものづくり人材の育成を推進してまいります。

\* Academy of Sessaku (切削) & Kenma (研磨) 切削・研磨は当社の部品加工において基本的かつ最も重要な技術

# TOPICS [世界に広がるNSKチーム]

## NSK Europe

フランクフルト 従業員: 43名 設立: 2003年



## NSK Dental Nordic

イエテボリ 従業員: 12名 設立: 2018年



## NSK Shanghai

上海 従業員: 32名 設立: 2005年



## NSK America

シカゴ 従業員: 73名 設立: 1984年



## NSK United Kingdom

ロンドン 従業員: 29名 設立: 2007年



## NSK Dental Korea

ソウル 従業員: 10名 設立: 2014年



## NSK France

パリ 従業員: 30名 設立: 2005年



## NSK Nakanishi Asia

シンガポール 従業員: 3名 設立: 2009年



## NSK Dental Spain

マドリッド 従業員: 19名 設立: 2008年



## NSK Dental Italy

ティエネ 従業員: 61名 設立: 2013年



## NSK Middle East

ドバイ 従業員: 4名 設立: 2000年



## NSK RUS

モスクワ 従業員: 6名 設立: 2007年



## NSK Oceania

シドニー・オークランド 従業員: 17名 設立: 2007年



## NSK America Latina

ジョイントヴィレ 従業員: 20名 設立: 2013年



## 株主還元について

### ■ 株主還元方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付け、事業基盤の強化や成長領域への投資を適正かつ積極的に推進しつつ、株主の皆様への利益還元をバランスよく行ってまいります。

将来の成長投資に必要な内部留保を考慮した上で、中期的な利益還元の基準を総還元性向50%として、機動的な自己株式の取得と安定的かつ継続的な増配を行うよう努めてまいります。

### ■ 2022年度中間配当の実績

2022年度の中間配当につきましては、期初の配当予想から2円増配し、1株あたり22円と致しました。

### ■ 2022年度期末配当の予想

2022年度期末配当につきましては、当期の業績動向を鑑みて期初の配当予想から2円増配し、1株あたり22円と致しました。これにより、年間配当総額は1株あたり44円になる見通しです。

### ■ 自己株式の取得

当期業績が当初の業績予想を上回って推移していることから、株主還元方針として掲げている総還元性向50%の実践に向けて、当期は中間・期末配当の増配に加え、自己株式の取得を実施することに致しました。当期における自己株式の取得実績は、現時点で2月9日公表（3月24日取得完了：合計241,600株・499百万円）および5月12日公表（8月31日取得完了：合計407,700株・999百万円）となっております。

### ■ 株主還元の推移

\* 2018/04 株式分割(1:3)



	2017 実績	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 予想
年間配当金 (円)	26.00	31.00	30.00	30.00	37.00	44.00
配当性向 (連結) (%)	30.7	35.4	36.6	40.3	31.7	39.4
総還元性向 (連結) (%)	30.7	35.4	36.6	40.3	43.5	

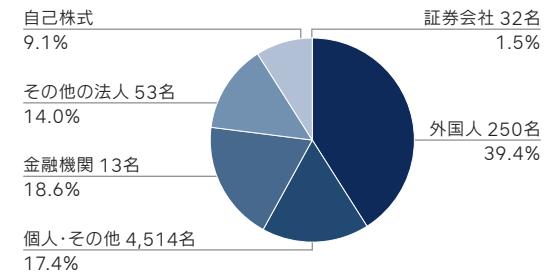
## 株式の状況 (2022年6月30日現在)

■ 発行可能株式総数 ……………375,000,000株

■ 発行済株式の総数 …………… 94,259,400株

■ 株主数 ……………4,863名

### ■ 株式分布状況



### ■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,846千株	9.2%
ナカニシE&N株式会社	4,530千株	5.3%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,502千株	5.3%
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,881千株	4.5%
株式会社オフィスナカニシ	3,120千株	3.6%
公益財団法人NSKナカニシ財団	3,021千株	3.5%
中西英一	2,814千株	3.3%
中西賢介	2,806千株	3.3%
中西崇介	2,781千株	3.2%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,648千株	3.1%

(注) 1. 当社は、自己株式を8,573千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 会社概要 (2022年6月30日現在)

社名 株式会社ナカニシ  
設立 1951年2月  
代表者 代表取締役社長執行役員 中西英一  
資本金 867,948,542円  
従業員数 1,324名(連結)  
本社 栃木県鹿沼市下日向700番地  
事業所 本社・工場  
東京事務所  
大阪事務所

主要関係会社  
NSK-America Corp.(アメリカ)  
NSK Europe GmbH(ドイツ)  
NSK France S.A.S.(フランス)  
NSK United Kingdom Ltd.(イギリス)  
NSK Nakanishi Dental Spain S.A.(スペイン)  
NSK Oceania Pty. Ltd.(オーストラリア)  
NSK Shanghai Co.,Ltd.(中国)  
NSK Dental Italy S.r.l.(イタリア)  
NSK Dental Korea Co.,Ltd.(韓国)  
NSK America Latina Ltda.(ブラジル)  
NSK Dental Nordic AB(スウェーデン)  
NSK RUS LLC(ロシア)

主要取引銀行 足利銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行

役 員	代表取締役社長執行役員	中西英一
	代表取締役副社長執行役員	中西賢介
	取締役専務執行役員	鈴木正孝
	取締役	野長瀬裕二
	取締役	荒木由季子
	常勤監査役	豊玉英樹
	監査役	澤田雄二
	監査役	馬来義弘

(注) 1. 取締役 野長瀬裕二、荒木由季子は社外取締役です。  
2. 監査役 豊玉英樹、澤田雄二、馬来義弘は社外監査役です。